

「氷河期」採用試験 605倍 宝塚市、3人募集に1816人

バブル経済崩壊後の「就職氷河期世代」に限定し、宝塚市が始める正規職員の採用試験で、同市は30日、全国から1816人の応募があったと発表した。来年1月に3人を採用する計画だが、競争率は605倍という狭き門に。市は急ぎよ、9月の1次試験会場を3カ所から10カ所に増やして対応する。

新卒などの学生とは別に、本年度末で36～45歳の高卒以上の人を市職員として直接雇用する。同市は今年から3年間採用を続ける方針で、この世代に限った職員の採用は全国の市町村で初めてという。

同市によると今月19～30日の12日間に、北海道から沖縄まで全国から試験の申し込みがあつた。氷河期世代は、企業が新卒採用を控えた影響で不本意な非正規雇用が増えたとされる。試験の応募者からは「卒業時は頑張ったけど駄目だった」「よくぞこの世代に光を当ててくれた」という声の寄せられているという。

筆記試験（9月22日）の会場には3会場を用意していたが足りず、西宮市の大学キャンパスなども借りて新たに7会場を確保した。

希望者の殺到に、宝塚市の中川智子市長は「氷河期世代の多くの人に支援が必要と実感した。ただ、宝塚だけでは砂漠に一滴の水を落とすように、他の自治体も採用を広げてほしい」と話した。

（小谷千穂）

名前【 】

- ① 宝塚市が新卒などの学生とは別に、本年度末で36～45歳の高卒以上の人を直接雇用する。この世代の人を何世代と言っていますか。

- ② 宝塚市がこの採用試験を実施する理由として正しい方に○をつけましょう。

- () 急に退職者が大量に出たため、職員の数が足りなくなったから
- () バブル経済崩壊後、企業が新卒採用を控えた影響で不本意な非正規雇用で働いている人々に正規採用の機会を与えるため

- ③ 宝塚市長が話した「宝塚だけでは砂漠に一滴の水を落とすよう・・・」の意味を次の数字を使って説明しましょう。
(1816人、3人、605倍)